

# 新型コロナウイルス感染症拡大時の対応!!

新正会  
樋口千代子



その他の  
質問事項

- ▼ 塩尻市手話言語条例について
- ▼ 旧「信州塩尻農業公園チロルの森」の後利用について

## ◆新型コロナウイルス感染症拡大時の対応について

**問** 在宅一人暮らしの障がい者の方がコロナ感染陽性者になり在宅療養をする時、重症化、または急変時に、訪問看護等医療機関、救急搬送等連携が取れているのか。

**答** 障害福祉サービスを利用している方については、相談支援事務所が中心となり、コロナ感染の際も緊急時の対応などの支援体制が構築されている。

**問** この時期、保健所は対応に追われ、1日電話しても出ないことがある。県の健康管理センターの指示はあるが、一人暮らしの時、症状が悪化し、病院受診の時、本当に相談支援事業所が対応してくれるのか。

**答** 相談支援事務所を中心に支援体制は整っている。

**要望** 相談支援事業所だ

けでは、責任が取れないと思う。在宅のコロナ感染陽性者への支援チームを作り、訪問事業所のみならず、訪問者の方も安心して在宅生活が送れる体制整備を要望する。

**問** 訪問事業所は、訪問時、利用者の方に感染させないよう感染予防グッズに経費がかかっている。抗原検査キットは1個2000円近くするが、抗原検査キットで陰性を確認し訪問している。市所有の抗原検査キットに余裕があるというので、訪問事業所も配布対象施設にしたい。

**答** 今後、配布先等、医師会と検討していく。

(福祉課)



抗原定性検査キット

# 小口市政20年の行政運営

その他の  
質問事項

- ▼ 感染症BCPについて
- ▼ 高校再編について

## ◆小口市長の政治手法

**問** 5期20年に亘る重責に対し最大の感謝と敬意を表する。市民全員参加型の行政システム構築を掲げ、飛び込み市民会議や常設型住民投票条例等に取り組んだが、現在は市民との関わりが少くないと思うが、市長の考え方の変化はどうか。

**答** 行政だけでは多様化・複雑化する時代の過渡期にあつて、お任せ民主主義からの脱却を図り、市政の課題や地域の在り方について議論を深めたことが鮮明に残っている。一方で、目まぐるしく変化化する社会情勢の中、説明責任のあり方や民意の集約・参画のあり方は協働のまちづくりの浸透を前提としつつ、地域や個人の負担や行動変容に配慮しつつ、ビジネス手法による地域課題解決等に直接かかわる方との、より能動的な市政参画手段にウイングを広げた。今

後は、未来の塩尻を思い描きながら、協働から創への進化こそが内外から選ばれる地域の基盤になるものと信じている。

(市長)

**問** ◆給食費無料化について 市長公約の給食費無料化は実現せず、公会計化に止まったが、理由はどうか。

**答** 民主党政権の一括交付金を念頭に置いた。単年度のみの実施は可能だが、恒久財源確保が困難となり断念した。公会計化は、学校や保護者負担を軽減すべく実施し、安心で美味しい自校給食の強みを堅持した。

(市長)



公明党  
なかむら  
中村

つとむ  
努



塩尻市協創ワークショップ